

北町中学校だより

誠・力・光

7月



令和8年度 7月号

「一瞬の喜びではなく、一生の喜びを」

校長 岩本 眞由美

皆さんは、佐々木麟太郎さんをご存じですか。佐々木麟太郎さんは、岩手県の花巻東高等学校出身の野球部員でした。令和5年の夏の甲子園ではベスト8まで進み、高校通算本塁打は140本打ち、令和5年のドラフトの目玉の一人と言われていました。しかし、彼はプロ野球、国内の大学にも進まず、アメリカで最も入学が難しい大学の一つで、合格率は5%前後の名門校のスタンフォード大学への進学を決めました。

佐々木麟太郎さんが進学を決めた思いが印象的だったので紹介します。

「野球の面だけで決断したわけではありません。自分自身の人生観として、『一瞬の喜びではなく、一生の喜びを』という考えがあります。野球だけでなく学業にもこだわっていました。英語の部分は自分自身まだまだですし、これからアメリカで学んで、言語も文化も、いろいろな思考をもつ方々と出会って交流したい。より高い知識や知恵、さらに思考を構築していけるんじゃないかと思います。」また、高校生活を「失敗の連続だった」と振り返り、今後「とにかく挑戦。失敗しても、そこからどんどん立ち上がって、食らいついていくことだけを考えたい」と語っています。

皆さんも、佐々木麟太郎さんのように、これからの人生の中で大きな夢をもち、行動し、夢の実現に向けてチャレンジしてください。

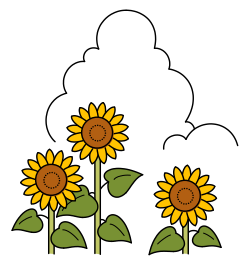
中学生の皆さんですから、失敗や間違いはありますし、失敗を恐れていては成長しません。しかし、もし失敗や間違いをしてしまった時はそのことを素直に認め、叱ってくれる人に、きちんと叱られてください。そして、場合によっては心を込めて謝罪をしてください。

褒められることや叱られることを含め、日々の生活の中で起こる様々な経験を生かすことを「学習」といいます。今、できないことが多くても素直な人、努力できる人、「学習」できる人が伸びます。失敗したことは繰り返さないようにしましょう。「学習」してください。

さて、夏休みですが、今年の夏も猛暑になることが予想されます。熱中症に気をつけ、十分な水分と塩分を補給してください。

また、夏休みにしかできないこともあります。メリハリとリズムがある生活をおくり大いに様々な体験、つまり画面上の体験ではない実際の体験をたくさんして欲しいと思います。このことが重要です。

自分の目で見、耳で聞き、手で触り、肌で感じ、鼻でにおいをかいで等、たくさん体感してください。このことが皆さんの一生の肥やしになります。



事故や怪我など無く、充実した夏休みをお過ごしいただき、2学期を迎えられるように願っております。1学期、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。